



2018年12月26日
千葉支社

千葉支社管内の駅がますます使いやすくなります！

～よりご利用いただきやすい設備へのリニューアルを進めています～

- JR東日本では、質の高いサービスを提供することにより、お客さまのご期待にお応えする取り組みを継続して行っています。
- お客さまがご利用になる駅の設備のリニューアルでは、より快適に駅をご利用いただけるよう、トイレの改修や待合室の整備などを行っています。
- 2018年度のリニューアル工事が一部完了しましたので、今回お知らせします。
- 工事期間中は、ご利用のお客さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

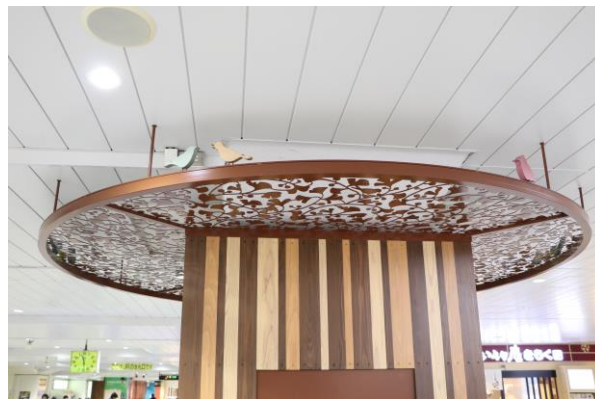
○ 2018年度の駅設備リニューアル工事の概要

(1) 駅コンコースの美化（本八幡駅）

- ・駅の利便性・快適性を向上させるため、滑りやすくなった床や老朽化した壁面のリニューアルを行い、コンコース空間の環境改善を行っています。
- ・また、周辺案内図等の情報発信コーナーを整備し、地域情報の発信に貢献します。
- ・本八幡駅では、近隣にある、慣れ親しまれた葛飾八幡宮内にある「千本公孫樹(いちょう):国指定天然記念物」の木が植えられていることから公孫樹(いちょう)をモチーフとしたデザインを実施しました。(2018年12月20日工事完了)



本八幡駅コンコース



千本公孫樹(いちょう)をモチーフとした柱

(2) お客様用トイレのリニューアル（稲毛駅）

- ・より快適にトイレをご利用頂けるように、お客さまのご利用人数が多い駅を中心に、トイレの全面改修を行っています。
- ・稲毛駅では地元で行われている「夜灯（よとぼし）祭り」をコンセプトに、お祭りの実行委員会からのご協力を得てトイレをデザインし、利用されるお客さまに愛着を持っていただけるトイレを目指しました。（2018年11月8日使用開始）



夜灯祭りの写真・ロゴ(夜灯実行委員会様ご提供)



<デザインイメージ>

稲毛の海では、新月の夜、干潮時に出来た潮溜まりに取り残された魚をカンテラの灯りで獲る遊びの漁、夜灯（よとぼし）漁が行われていました。今回のトイレのデザインはその漁を浜辺から見た光景をイメージしています。ファサード上部に描かれた町並みは当時の稲毛の風景を再現しており、駅のコンコースを通る人たちは、浜辺で夜灯漁を行っている人と同じ視線を眺めることができます。



トイレファサードデザイン

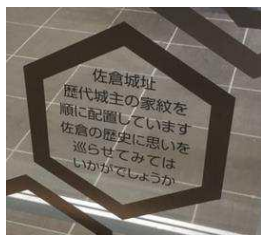
トイレ通路部デザイン

(3) お客様用トイレの和便器の洋式化

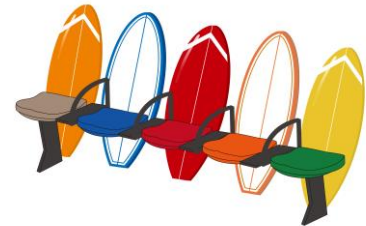
- ・お客さまのご利用人数が多い駅以外では、お客さま用トイレに和式便器が残っていました。
- ・ライフスタイルの変化や外国人のお客さまの増加に伴い、和便器の洋式化を行っています。
- ・2018年度は、17駅37箇所のブースで、和便器の洋式化を実施します。

(4) 待合室整備 (上総一ノ宮駅)

- ・ 駅で列車をお待ちいただく時間を快適に過ごしていただくために、ホームなどに待合室を整備しています。
- ・ 待合室の外壁のガラス面などに駅周辺の特徴をモチーフとしたデザインを行い、地元の皆さまにも愛着を持っていただけるよう努めています。
- ・ 上総一ノ宮駅では、サーフィンの国際大会が開かれる海岸が付近にあることから、海とサーフィンをデザインしました。(2018年12月27日使用開始予定)



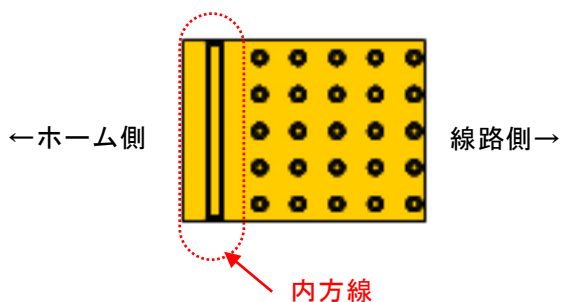
ホーム待合室の整備例
(佐倉駅:2017年度整備)



上総一ノ宮駅
ホーム待合室(イメージ)

(5) ホーム縁端部の内方線付き点字ブロック整備

- ・ 目の不自由なお客さまにホームの内側をわかりやすくお知らせする、ホーム縁端部の内方線付き点字ブロック整備を進めており、2018年度は14駅で整備いたします。



内方線付き点字ブロック(イメージ)



内方線付き点字ブロックの整備例
(八幡宿駅:2017年度整備)